

00 近年の状況

昨年8月の豪雨では、8月13日から15日までの3日間の合計降水量が207mmとなり、8月の月平均降水量(159.5mm)を超える記録的な大雨となりました。近年では、線状降水帯による大雨などいっどこで水害が発生してもおかしくない状況です。自分の地域は大丈夫と過信せず、今一度備えましょう。
 ※線状降水帯は、次々と発生する発達した雨雲が列をなして数時間にわたり同じ場所を通過することで豪雨の被害をもたらすものです。

■雨期に備えて

土のう作製の方法と、地域の土のう保管場所について確認しましょう!

■土のう作製の方法

■土のう保管場所について



消防局予防課
☎525-9902



消防局警防課
☎525-9903

特集

今やろう。～風水害に備える～

6・7月の大雨シーズンを迎える前にハザードマップの使い方や、災害発生時の情報収集手段についてお知らせします。ご活用いただき、日ごろからの備えや、災害時の行動を考えましょう。

01 自分の地域のリスクを知る

ハザードマップを見て自宅や周辺地域を確認しましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。



02 命を守るためにあなたがとるべき避難行動は??

災害時の行動を事前に決めておきましょう。

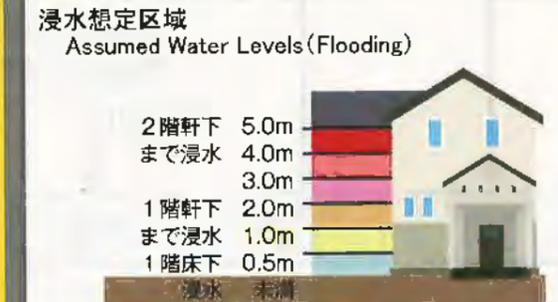


土砂災害の危険がないかを確認

- 土砂災害警戒区域
Sediment Disasters Caution Area
- 土砂災害特別警戒区域
Special Sediment Disasters Caution Area

- 土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれがある区域
- 土砂災害特別警戒区域
土石流が流れ込んだり、崖崩れや地滑りが起こるおそれがある区域

洪水や浸水の危険がないかを確認



- 浸水想定区域
河川や身近な水路などの氾濫により浸水のおそれがある区域

ホームページでハザードマップを確認



04 備蓄品の準備

いざというときに備えて、最低3日分、できれば7日分の備蓄品を準備しておきましょう。
 ※表紙のチェックリストを参考に。

03 避難情報を入手

災害時には、一人ひとりが正しい情報を入手し迅速に行動することが、被害の拡大を防ぎます。自分で情報収集できるように準備しましょう。

市の避難情報の内容

- 日時
- 災害の種類 (土砂災害、河川の氾濫等)
- 避難情報の種類 (高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)
- 対象区域等 (〇〇学区の土砂災害警戒区域等)
- 開設する指定避難所 (〇〇市民センター、〇〇小学校体育館等)

■大津市防災ポータルサイト

災害への備えや危険箇所、避難所など防災に関する情報を集約



■大津市防災メール



■エリアメール、緊急速報メール

携帯電話会社が市内の携帯電話に配信。一部対象外機種あり

■テレビのdボタン

■大津市防災ナビ



iPhone用



Android用

特集に関する問い合わせは……危機・防災対策課 ☎528-2616

大きな地震が発生した時の行動

地震発生!

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて、自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

命を守る



1~5分

- 家族の安全を確認。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 非常持ち出し品を手元に用意する。
- 余震に注意。

家族を守る



5~10分

- 隣近所の安全を確認。
- ラジオなどで情報を確認。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。

地域を守る



助け合いの心で...

10分~数時間後

- 協力して消火・救出活動。
- 壊れた家には入らない。
- 水・食料は備蓄でまかなう。
- 引き続き余震に注意。
- 災害情報、被害情報の収集。

避難生活

- 避難所等では集団生活のルールを守る。

緊急地震速報

地震発生直後、震源近くの地震計により強い揺れの到達時間や震度を予測し、強い揺れが到達する前に、テレビやラジオ、携帯電話等でお知らせするものです。

震源からの距離によって、揺れの到達予測時間は数秒~数十秒と差がありますが、緊急地震速報を見聞きした場合、少なくとも1分間程度、身の安全を守り、地震に警戒をしましょう。

※詳しくは気象庁ホームページを参照ください。 <http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/>

命を守る行動

こんな場所で地震が起こったら...

○ 道路を歩いている時...

- ビルの窓ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物などで頭を守る。
- 近くの広場や頑丈なビルに一時避難し、様子を見る。



○ 自動車を運転している時...

- 急停車せずに、徐々に減速し、道路の左側に停止し、エンジンを止める。
- 避難する時は、かぎを付けたまま歩いて避難する。
- カーラジオで災害情報を聞く。



○ 交通機関を利用している時...

- カバンなどで頭を保護する。
- 緊急停止に備えて、つり革・手すりにしっかりつかまる。



○ エレベーターの中にいる時...

- 全ての階のボタンを押し、一番近い階で止まったらすぐに降りる。
- 停電などでドアが開かなくなったら、緊急連絡ボタンを押し、指示を待つ。

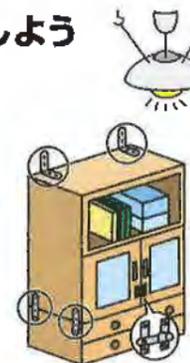


家具の転倒・落下防止をしよう

家具の配置・転倒防止を考えましょう!

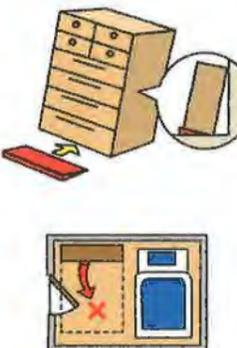
○ 耐震金具を利用しよう

- 本棚やタンスなどの重い家具が倒れないように固定する。
- 重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。
- 食器棚などの扉が開かないように金具で留める。
- 吊り下げ式照明器具は、チェーンなどで留める。



○ 置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入り口や通路には、なるべく荷物を置かないようにします。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をします。



○ ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

